

日本女子大学附属豊明小学校

【理事長】 今市 涼子

【校長】 宮城 和彦

〒112-8681 東京都文京区目白台 1-16-7 Tel. 03-5981-3800(代) <https://www.jwu.ac.jp/elm/>

【交通】 J R山手線目白駅からスクールバス新宿駅西口行で女子大前、東京メトロ有楽町線護国寺駅から10分・副都心線雑司が谷駅から8分

興味や関心を引き出す実物教育で、 児童の個性を育てる

大学・大学院に至る一貫教育を展開

1901年、日本で最初の組織的な女子高等教育機関である日本女子大学が開学。女子教育という歴史の新しい1ページを開いた5年後の1906年に、女子の生涯教育の一環として日本女子大学附属豊明小学校が設立されました。

以後、その110年を超える歴史の中で、創立者・成瀬仁蔵先生が唱えた「信念徹底」、「自発創生」、「共同奉仕」の3つの教育の精神のもと、児童の発達段階に応じた学習指導、生活指導を展開。附属豊明幼稚園から大学、大学院にいたる一貫教育を通じて、知育、徳育、体育のバランスのとれた全人教育を目指しています。

特色ある豊明小学校の授業

自学自動・実物教育の実践●基礎学力の定着を基本に、系統的な校外学習、伝統的な「日記」指導、さらに理科、音楽、図工、体育、家庭科、英語など専科制を充実させて、「実物教育」の精神を日常の学習・生活で実践しています。また、情報教育、国際理解教育などをふくめ教科の枠を越えた豊明版総合的学習を学年毎に織り込んで自主性を重視した教育に努めています。

1998年落成の第一校舎には、「発達段階に応じた生活、学習の場」「充実した運動・学びの施設」「実物教育を可能にする豊かな動線」「自学自動の拠点としての図書館」など、今まで積み重ねてきた伝統と新しい時代への想いが込められ、子どもたちの成長を支えています。

学習指導●実物教育によって、一人ひとりの児童が自ら体験し、実感を持って学びとることを主眼としています。とくに児童自らの興味や関心を引き出し、対象を深く洞察し、理解したうえで、系統的な知識に結びつけるように指導しています。

生活指導●意志力を強めて、自らを律する力をつけるとともに豊かな情操を養い、知・情・意のバランスのとれた人間教育をめざしています。そのため、学校内の諸行事・諸活動を通じて、集団の中での個人の大切さを理解させるとともに、奉仕と協力の精神を育てていきます。

上級学校に進むには

学力、意欲、性行において、附属中学校に進学するにふさわしい児童には進学が推薦されます。

豊明小学校の教育

日本女子大学に受け継がれる「三綱領（信念徹底・自発創生・共同奉仕）」。
豊明小学校ではこれを「一生懸命がんばる子」「自分から進んで行動する子」「みんなと力を合わせ協力する子」として子どもたちへわかりやすく説き、日々大切に指導・実践しています。

そして、この理念を実現するために、学校生活全体において「実物教育」「自学自動」を機軸にした教育を行っています。目の前で実物に触れ、肌で感じ、時には匂いを確かめ、またある時には耳を澄まして聞くといった“実感を伴う学び”が、子どもたちの知と心をゆたかに大きく育むための大切な要素であると考え、創立以来ずっとこの教育方法を実践しています。



沿革

明治39年4月、森村豊明会の援助を受け、日本女子大学の附属小学校として創設された。校訓に「親切」「正直」「一生懸命」「質素」「自治」の5項目を掲げ、生徒の指針とした。初めは男女共学で発足したが、大正7年入学から女子のみに限り、以来女子教育の実を挙げてきた。

2026年度募集要項

- 募集人員：女子約54人
出願期間：9月8日～10月3日（Web出願）
書類提出：10月1日～10月3日（郵送のみ・必着）
検定料：25,000円
選考日：（面接）10月12日、13日のうち1日
（考査）11月1日
合格発表日：11月3日（Web）
【かかる費用（2025年度参考）】
入学金：250,000円
授業料：462,000円（学期分納可）
施設設備費：480,000円
このほかに、豊明会入会金、教材費など。
◆学校説明会：5月10日
◆オープンスクール：5月24日
◆授業見学会：6月18日、2026年2月18日
◆入試説明会：7月27日
◆個別相談会：7月27日

併設中学進学状況

- ◆日本女子大学附属中学校
※原則として申請者全員が進学可能

データパック

- ◆児童数684人／教員数34人
◆25年度応募者数：298人
◆合格者数：54人

【併設校】

- 日本女子大学附属豊明幼稚園
○日本女子大学附属中学校・高等学校
○日本女子大学